

風鈴の如く Vol12 ～強く、そしてしなやかに～

通勤途中に垣間見る山々が、今年も桜色に染まり、「綺麗だなあ」と思う一方、新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大が止まりません。経済活動への影響は、急激かつ広範囲に渡り、景気悪化と生活困窮を招いています。

また、小・中・高、特別支援校の休校措置が取られて約一カ月が経過をしました。

我が家の二人の対象者は、家族間に起きる様々な大波、小波に対して、ある時は上手に乗ったり、またある時は大波を真正面に受け撃沈したりと葛藤の日々を送っています。

とはいうものの自分なりに「イタリア、ミラノ市内の高校の校長」のメッセージとまではなりません、有意義な時間を過ごしているようにも見えます。

この新型コロナウイルスの感染拡大を終息させるためには、マクロ的にもミクロ的にも国や地域、関係団体やコミュニティー、そして一人ひとりの市民が、それぞれの持ち場立場の中で最善の取り組みを進めていくことが求められます。

ここ数年、近視眼的なリーダーたちが唱えてきた「〇〇ファースト」なるものでは「今の危機」は克服できないことは明らかなことです。

今こそ、第1次世界大戦（2,000万人超の犠牲者）、大恐慌、第2次世界大戦（5000万超の犠牲者）という大きな危機から生まれた多国間主義が、この国際連合をはじめとする様々な国際機関の旨とする多国間主義が、国境を越えて、お互いの多様性を尊重し、

心からの連帯で人と人が結び合う多国間主義が、この間、蔑ろにされてきたように思います。したがって、今こそ活かすことが求められています。

あるいは、この多国間主義的な考え方を自分の生活に引き寄せた一人ひとりの行動が求められています。

新型コロナウイルスの感染拡大は、今後も様々な方面に脅威を与えることが想定されますが、私たち連合大分も働く者の雇用・生活の安心・安全はもとより、県民市民の安心・安全に向けて、自分たちの足元からの「みんなの力」で取り組みを進めていきましょう。

以 上